

12月11日(水)～20日(金)

年末の交通安全県民運動

「無事故で年末 笑顔で年始」

運動の重点

▷横断歩道における歩行者優先の徹底

横断歩道横断中の交通事故死者が約2倍に増加しています。
横断歩道を横断しようとしている歩行者や横断中の歩行者がいる場合は、その横断歩道の手前で一時停止して歩行者の横断を妨げてはいけません。歩行者も道路を横断するときは、付近の横断歩道などを利用し、横断中でも必ず安全確認をしましょう。



▷全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の徹底

後部座席を含め全席でシートベルトの着用が法律で義務付けられています。9月末までの死亡事故におけるシートベルトの非着用率は3割強で、非着用者の6割は着用していれば命を落とすことはなかったと思われる。

▷夕暮れ時と夜間における交通事故防止

12月は1年のうちで人身事故が最も多い月です。歩行者は明るい色の服装を心掛け、反射材を身に着けましょう。自転車利用者は、反射材を身に着け、事故に備えて保険に加入しましょう。自動車運転者はハイビームを心掛けましょう。

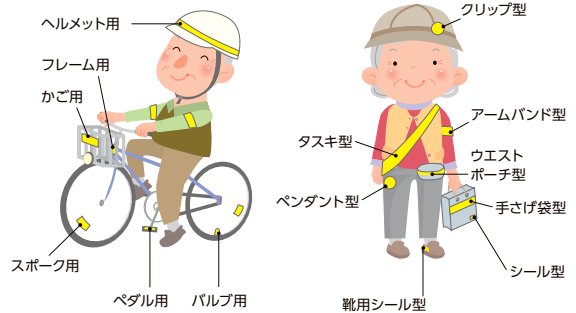
▷飲酒運転の根絶

- 飲んだら運転しない
- 運転手には飲ませない
- 飲んだ人には運転させない



▽自転車の飲酒運転も違反です!

反射材用品の種類



問 生活環境課 (内線172)

放火防止の対策をしましょう

放火や放火の疑いは、全国の火災原因のトップを占めています。

放火火災防止の基本は、「放火されない、放火させない、放火されても被害を大きくさせない」ことです。次の点に注意し、放火されない環境をつくるよう心掛けましょう。

建物

建物に放火されたケースを見ると、建物外周部、倉庫、車庫、共同住宅の階段室など侵入されやすい場所や人けのない暗がりにおける放火が目立ちます。

- ▶施錠管理を徹底し、外部からの侵入を防ぐ。
- ▶照明器具の設置などにより暗がりをなくす。
- ▶建物の周囲を整理整頓し、燃えやすいものを放置しないようにする。

車両

路上や屋外駐車場に駐車中の車両の荷台やボディカバーなどに放火されるケースがあります。

- ▶不用意に車を放置しない。
- ▶ボディカバーをする際には防災製品を使用する。
- ▶車両の施錠管理を徹底する。

その他

夜間に放置されたゴミや新聞・雑誌などに放火されるケースがあります。

- ▶ゴミは指定された場所、日時以外は出さないようにする。
- ▶ゴミ集積場所の環境づくりを地域ぐるみで実施する。

放火の危険から地域社会を守るためには、町内会、自主防災組織、事業所などが協力して、放火されない環境をつくるのが大切です。また、地域の皆さんの防火意識を高めるためにも、日頃の防火・防災訓練に積極的に参加しましょう。

問 消防本部予防課 (☎643129)